

# 大内中学校通信 紺碧

真岡市立大内中学校 Tel 0285-82-2541  
〒321-4405 真岡市飯貝1159  
HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/ouchjhsc>



- 学校教育目標
- 1 意欲をもって学習する生徒
  - 2 豊かな心情をもつ生徒
  - 3 健康で実践力に富む生徒
  - 4 すすんで働く生徒

真岡市立大内中学校  
令和7年度 第9号  
令和8年1月発行

昨年末に実施しました学校評価アンケートに際しましては、お忙しいところ、保護者の皆様から御協力と貴重な御意見を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、アンケート結果については、生徒・保護者・教職員それぞれの評価や意識の差異に着眼しながら、成果や課題等を次年度の教育活動等に生かせるよう分析しました。以下、それぞれの質問項目に対する評価結果と分析・対応をお知らせします。

## 令和7年度学校評価アンケート集計結果

5段階（A・B・C・D・E）で評価していただきました。（今年度より「Eわからない」を追加しました）  
A：よくあてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない E：わからない

※百分率で表した数値は概数のため、合計が100%にならない場合がありますので御了承ください。

### 質問1 教育課程

生徒	保護者	教職員
大内中の生徒は、活発に授業や行事に取り組んでいる。	大内中の生徒は、活発に授業や行事に取り組んでいる。	生徒や学校、地域の実態、保護者の意見・要望等を踏まえた教育目標、育てたい資質・能力等を適切に設定している。
100% A 66.0% 50% B 34.0% 0% C 0.0% D 0.0% E 0.0%	100% A 60.2% 50% B 33.0% 0% C 2.9% D 0.0% E 3.9%	100% A 46.2% B 46.2% 50% C 0.0% D 0.0% E 7.7%

A・B回答は、生徒が100%、保護者が93.2%となり非常に高い結果であり、特に生徒は昨年度から5.4%増加となった。今後も、生徒にとって「行きたくなる学校」、保護者にとって「行かせたくなる学校」となる学校づくりを継続していく。

### 質問2 教育課程

生徒	保護者	教職員
わたしは、明るく元気に学校に通っている。	わが子は、明るく元気に学校に通っている。	全教育活動を通しての道徳教育や特別活動（学級活動・学校行事・生徒会活動）を適切に実施している。
100% A 61.2% 50% B 35.0% 0% C 3.9% D 0.0% E 0.0%	100% A 42.7% B 44.7% 50% C 9.7% D 2.9% E 0.0%	100% A 38.5% B 53.8% 50% C 0.0% D 0.0% E 7.7%

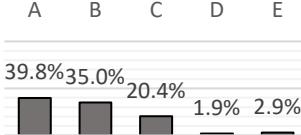
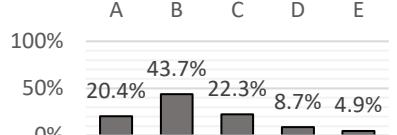
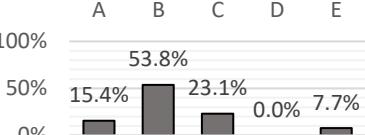
A・B回答は、生徒が昨年より2.6%増加し、保護者は同程度だった。各種行事や生徒会活動の効果や、生徒の悩みに対する対応などの効果があったと考えられる。今後も質の高い教育課程を継続していく。

### 質問3 学習指導

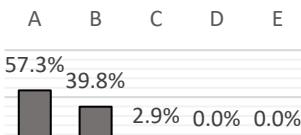
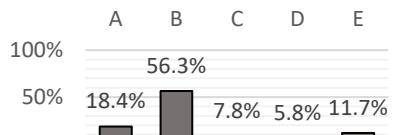
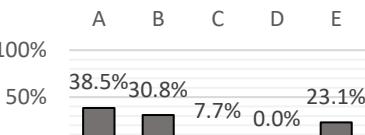
生徒	保護者	教職員
わたしは、授業がよく分かり、楽しい。	わが子は、授業がよく分かり、楽しいと言っている。	導入や発問の工夫、ICTの利活用等を行い、「分かる・できる・定着する」の実践に努めている。
100% A 40.8% B 50.5% 50% C 4.9% D 2.9% E 1.0%	100% A 44.7% 50% B 24.3% C 11.7% D 5.8%	100% A 69.2% 50% B 23.1% C 7.7% D 0.0% E 0.0%

A・B回答は、生徒が昨年度から14.4%増の91.3%、保護者は1.4%増の58.3%となった。生徒の一人一人の個々感に丁寧に寄り添うと共に、これまで以上に「分かる・できる・定着する」授業の工夫や基礎基本定着の徹底を図る。

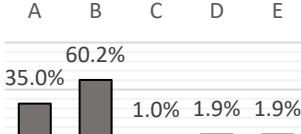
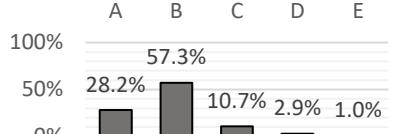
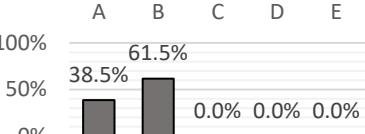
#### 質問4 キャリア教育

生徒	保護者	教職員
わたしは、将来への夢や希望をもっている。	わが子は、将来への夢や希望をもっている。	各教科等で体験的な活動を取り入れる工夫をし、勤労観・職業観の育成に努めている。
		
A・B回答は、生徒74.8%で昨年度より7.2%増加、保護者が64.9%で昨年度より2.4%増加となった。C・D回答がそれぞれ約25%～30%前後となっており、生徒がより具体的な将来への希望をもてるよう家庭と連携しながら推進する。		

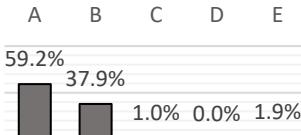
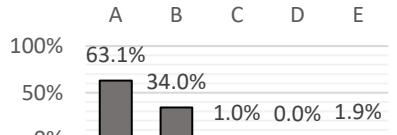
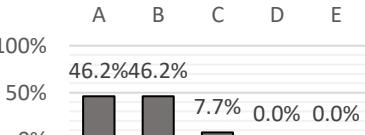
#### 質問5 道徳教育

生徒	保護者	教職員
わたしは、豊かな心を育むために、道徳の授業に積極的に参加している。	わが子は、豊かな心を育むために、道徳の授業に積極的に参加している。	道徳の授業において、道徳的価値の理解、物事の多面的・多角的な考え方、よりよい生き方についての深め方を指導している。
		
今年度から道徳の授業に関する質問に変更したため、昨年度との比較はできないが、生徒のA・B回答は97.1%と高いものになった。その反面保護者のA・B回答は74.7%と生徒と大きな隔たりがあり、さらにはE回答が11.7%と道徳の授業に対する認知が低いことがわかった。今後は授業の周知のみならず、生徒が学校や社会での実践などを振り返って家族と共有するような取組をして、道徳の授業の認知を深めていく。		

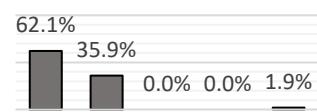
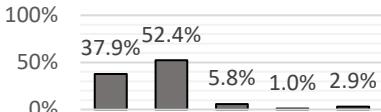
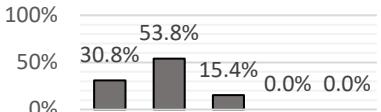
#### 質問6 生徒指導

生徒	保護者	教職員
わたしは、元気にあいさつや返事をしている。	わが子は、元気にあいさつや返事をしている。	学校の雰囲気が温かく、生徒が安心して学習や生活に取り組めるよう、支え合う人間関係づくりに努めている。
		
A・B回答は、生徒・保護者とも昨年度より数%増加しているが、どちらもAよりもBが高い。大内中スローガンGPSCのG (Greeting : 挨拶・返事・対話力) の取組を中心、常に自信をもってあいさつや返事ができるよう学校全体で向上を図るとともに、家庭や地域との連携をさらに高め協力して取り組んでいきたい。		

#### 質問7 生徒指導

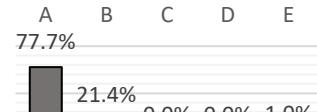
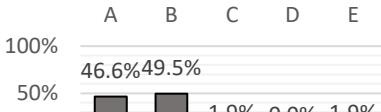
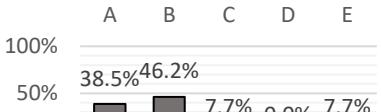
生徒	保護者	教職員
わたしは、学校の決まり（「大空」の内容）やマナーを守っている。	わが子は、学校の決まりやマナーを守っている。	ルールやマナーを守るなどの規範意識や基本的な生活習慣を身に付けさせる指導を適切に実施している。
		
A・B回答は、生徒が昨年度と同程度の97.1%、保護者が3.6%増の97.1%となった。大内中の現状と最新の社会的状況を鑑み、適宜「大空」の見直しを実行しながら、A回答がより増加するよう指導の充実を図る。		

質問8 人権教育

生徒	保護者	教職員																																				
大内中の先生は、生徒の話をよく聞いて、親身になって対応してくれる。	大内中の先生は、生徒の話をよく聞いて、親身になって対応してくれる。	教職員自らの人権感覚を磨く校内研修を継続的に実施している。																																				
 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>62.1%</td></tr> <tr><td>B</td><td>35.9%</td></tr> <tr><td>C</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>D</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>E</td><td>1.9%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	62.1%	B	35.9%	C	0.0%	D	0.0%	E	1.9%	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>37.9%</td></tr> <tr><td>B</td><td>52.4%</td></tr> <tr><td>C</td><td>5.8%</td></tr> <tr><td>D</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>E</td><td>2.9%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	37.9%	B	52.4%	C	5.8%	D	1.0%	E	2.9%	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>53.8%</td></tr> <tr><td>B</td><td>30.8%</td></tr> <tr><td>C</td><td>15.4%</td></tr> <tr><td>D</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>E</td><td>0.0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	53.8%	B	30.8%	C	15.4%	D	0.0%	E	0.0%
Category	Percentage																																					
A	62.1%																																					
B	35.9%																																					
C	0.0%																																					
D	0.0%																																					
E	1.9%																																					
Category	Percentage																																					
A	37.9%																																					
B	52.4%																																					
C	5.8%																																					
D	1.0%																																					
E	2.9%																																					
Category	Percentage																																					
A	53.8%																																					
B	30.8%																																					
C	15.4%																																					
D	0.0%																																					
E	0.0%																																					

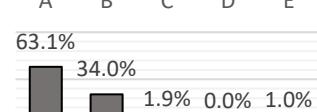
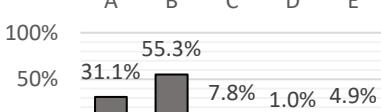
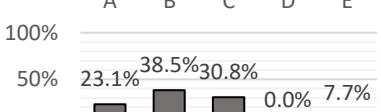
A・B回答は、生徒が昨年度より10.1%増の98.0%、保護者が9.9%増の90.3%とどちらも大きく上昇した。引き続き教職員の人権意識の涵養を図るとともに、生徒と教職員のよりよい人間関係づくりを継続する。

質問9 人権教育

生徒	保護者	教職員																																				
わたしは、友だちを思いやり、仲良くしている。	わが子は、友だちを思いやり、仲良くしている。	人権教育の全体計画を整備し、望ましい人間関係づくりや学級の団結力醸成などに全職員で努めている。																																				
 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>77.7%</td></tr> <tr><td>B</td><td>21.4%</td></tr> <tr><td>C</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>D</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>E</td><td>1.0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	77.7%	B	21.4%	C	0.0%	D	0.0%	E	1.0%	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>46.6%</td></tr> <tr><td>B</td><td>49.5%</td></tr> <tr><td>C</td><td>1.9%</td></tr> <tr><td>D</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>E</td><td>1.9%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	46.6%	B	49.5%	C	1.9%	D	0.0%	E	1.9%	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>38.5%</td></tr> <tr><td>B</td><td>46.2%</td></tr> <tr><td>C</td><td>7.7%</td></tr> <tr><td>D</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>E</td><td>7.7%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	38.5%	B	46.2%	C	7.7%	D	0.0%	E	7.7%
Category	Percentage																																					
A	77.7%																																					
B	21.4%																																					
C	0.0%																																					
D	0.0%																																					
E	1.0%																																					
Category	Percentage																																					
A	46.6%																																					
B	49.5%																																					
C	1.9%																																					
D	0.0%																																					
E	1.9%																																					
Category	Percentage																																					
A	38.5%																																					
B	46.2%																																					
C	7.7%																																					
D	0.0%																																					
E	7.7%																																					

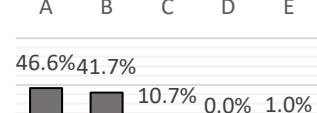
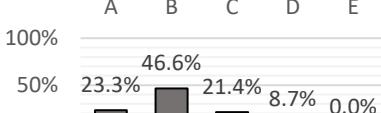
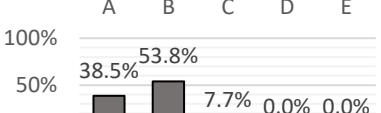
A・B回答は、生徒が99.1%、保護者が96.1%で昨年度と同程度であった。学業指導（学びに向かう集団（学級）づくり・子どもが意欲的に取り組む授業づくり）の充実を図るとともに、いじめアンケートやいじめ防止サミットなどを通して、いじめは絶対に許さないという感覚を養う。

質問10 特別支援教育

生徒	保護者	教職員																																				
大内中の先生は、困ったときにわかりやすいアドバイスをしてくれる。	大内中の先生は、困ったときに的確なアドバイスをしてくれる。	個別の支援計画（指導計画）を作成し、個に応じた教育的支援を行っている。																																				
 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>63.1%</td></tr> <tr><td>B</td><td>34.0%</td></tr> <tr><td>C</td><td>1.9%</td></tr> <tr><td>D</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>E</td><td>1.0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	63.1%	B	34.0%	C	1.9%	D	0.0%	E	1.0%	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>31.1%</td></tr> <tr><td>B</td><td>55.3%</td></tr> <tr><td>C</td><td>7.8%</td></tr> <tr><td>D</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>E</td><td>4.9%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	31.1%	B	55.3%	C	7.8%	D	1.0%	E	4.9%	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>23.1%</td></tr> <tr><td>B</td><td>38.5%</td></tr> <tr><td>C</td><td>30.8%</td></tr> <tr><td>D</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>E</td><td>7.7%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	23.1%	B	38.5%	C	30.8%	D	0.0%	E	7.7%
Category	Percentage																																					
A	63.1%																																					
B	34.0%																																					
C	1.9%																																					
D	0.0%																																					
E	1.0%																																					
Category	Percentage																																					
A	31.1%																																					
B	55.3%																																					
C	7.8%																																					
D	1.0%																																					
E	4.9%																																					
Category	Percentage																																					
A	23.1%																																					
B	38.5%																																					
C	30.8%																																					
D	0.0%																																					
E	7.7%																																					

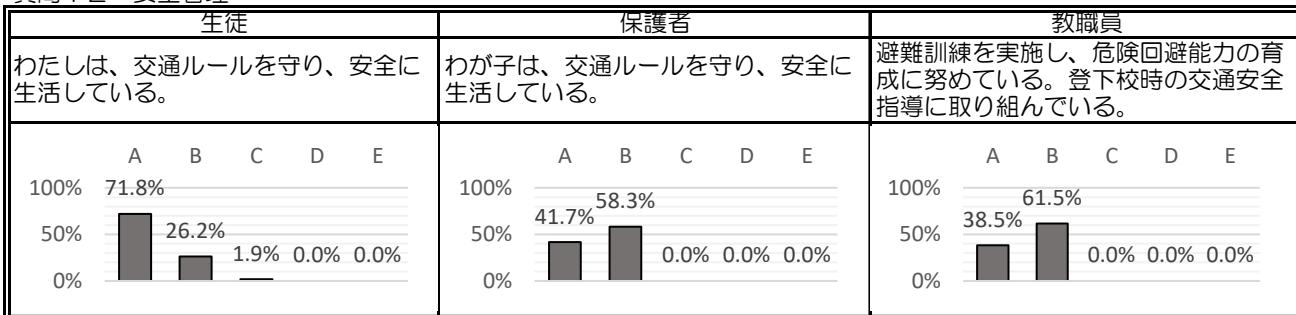
A・B回答は、生徒が昨年度より4.5%増の97.1%、保護者が4.0%増の86.4%といずれも上昇した。よりよい個別の支援計画になるよう改善をしながら生徒の困り感に寄り添い、誰一人取り残さない支援の充実を図る。

質問11 保健管理

生徒	保護者	教職員																																				
わたしは、睡眠・食事・運動に気を配り、健康な生活をしている。	わが子は、睡眠・食事・運動に気を配り、健康な生活をしている。	生徒の心身の健康問題について、学校と家庭が連携し互いに共通理解を図っている。																																				
 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>46.6%</td></tr> <tr><td>B</td><td>41.7%</td></tr> <tr><td>C</td><td>10.7%</td></tr> <tr><td>D</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>E</td><td>1.0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	46.6%	B	41.7%	C	10.7%	D	0.0%	E	1.0%	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>23.3%</td></tr> <tr><td>B</td><td>46.6%</td></tr> <tr><td>C</td><td>21.4%</td></tr> <tr><td>D</td><td>8.7%</td></tr> <tr><td>E</td><td>0.0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	23.3%	B	46.6%	C	21.4%	D	8.7%	E	0.0%	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td>38.5%</td></tr> <tr><td>B</td><td>53.8%</td></tr> <tr><td>C</td><td>7.7%</td></tr> <tr><td>D</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>E</td><td>0.0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	38.5%	B	53.8%	C	7.7%	D	0.0%	E	0.0%
Category	Percentage																																					
A	46.6%																																					
B	41.7%																																					
C	10.7%																																					
D	0.0%																																					
E	1.0%																																					
Category	Percentage																																					
A	23.3%																																					
B	46.6%																																					
C	21.4%																																					
D	8.7%																																					
E	0.0%																																					
Category	Percentage																																					
A	38.5%																																					
B	53.8%																																					
C	7.7%																																					
D	0.0%																																					
E	0.0%																																					

A・B回答は、生徒が昨年度より4.1%増の88.3%となったが、保護者は4.6%減の69.9%となり生徒・保護者間で大きな違いが生じた。健康に関する講話や学級活動などを通して健康教育の充実を図るとともに、家庭の理解や家庭との連携を強化することで生徒の健康増進を図る。

## 質問12 安全管理



A・B回答は、生徒が98.0%で昨年度と同程度、保護者が100%で昨年度より5.9%増加した。引き続き、生徒自ら「命を守り抜く」ための判断・行動ができるよう危機予測能力や危険回避能力の育成に努める。

## 質問13 組織運営



教職員のA・B回答は84.7%で昨年度と同程度であった。「生徒いるところ教師あり」を常に心がけ、生徒の立場に立って考え、信頼関係を深めると共に、「チーム大内」として共通理解と共通行動を心がけ、教職員にとって「勤めなくなる学校」を目指す。

## 質問14 組織運営



教職員のA・B回答は昨年度より12.0%増の76.2%となり昨年度より上昇した。働き方改革は道半ばであり、ICT機器の活用や業務内容の精選、業務分担の見直しや学校支援ボランティアの活用などを通して、教職員の負担軽減に努めている。

## 質問15 研修



教職員のA・B回答は昨年度より13.2%増の84.6%であった。授業研究会や校内研修を通して教職員の資質向上を図るとともに、ICTを活用したオンライン研修や動画配信研修等を活用し、効率よく研修に望める環境づくりに努める。

### 質問16 学校評価

生徒	保護者	教職員																																				
大内中の先生は、アイデアや工夫で、学校生活がよくなるよう改善している。	学校は、家庭や地域等の意見を取り入れ、学校がよくなるよう改善している。	R-PDCAサイクルにより、教育活動の改善・向上を図っている。																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>54.4%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>35.9%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>2.9%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	54.4%	B	35.9%	C	5.8%	D	1.0%	E	2.9%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>27.2%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>53.4%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>4.9%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>14.6%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	27.2%	B	53.4%	C	4.9%	D	0.0%	E	14.6%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>30.8%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>53.8%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>15.4%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	30.8%	B	53.8%	C	0.0%	D	0.0%	E	15.4%
Category	Percentage																																					
A	54.4%																																					
B	35.9%																																					
C	5.8%																																					
D	1.0%																																					
E	2.9%																																					
Category	Percentage																																					
A	27.2%																																					
B	53.4%																																					
C	4.9%																																					
D	0.0%																																					
E	14.6%																																					
Category	Percentage																																					
A	30.8%																																					
B	53.8%																																					
C	0.0%																																					
D	0.0%																																					
E	15.4%																																					

A・B回答は、生徒が90.3%で昨年度より2.3%増加、保護者が80.6%で0.7%減少した。今回の学校評価アンケートの結果を生かしながら、さらに生徒・保護者・地域の考え方・ニーズ等を的確に調査し、それらを取り入れたよりよい教育活動の実践に努める。

### 質問17 情報提供

生徒	保護者	教職員																																				
大内中の先生は、お便りやHPで学級や学年のようすを知らせている。	学校は、お便りやホームページで学級や学年のようすを知らせている。	学校からのお便り、HP、メールは、適切な分量が提供されている。																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>82.5%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>12.6%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>1.9%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>1.9%</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>1.0%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	82.5%	B	12.6%	C	1.9%	D	1.9%	E	1.0%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>56.3%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>41.7%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>1.0%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	56.3%	B	41.7%	C	1.0%	D	0.0%	E	1.0%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>53.8%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>46.2%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	53.8%	B	46.2%	C	0.0%	D	0.0%	E	0.0%
Category	Percentage																																					
A	82.5%																																					
B	12.6%																																					
C	1.9%																																					
D	1.9%																																					
E	1.0%																																					
Category	Percentage																																					
A	56.3%																																					
B	41.7%																																					
C	1.0%																																					
D	0.0%																																					
E	1.0%																																					
Category	Percentage																																					
A	53.8%																																					
B	46.2%																																					
C	0.0%																																					
D	0.0%																																					
E	0.0%																																					

A・B回答は、生徒が昨年度より0.7%増の95.1%、保護者が8.8%増の98.0%とそれぞれ増加した。毎日のホームページ更新と、学校だより・学年だより等を効果的に実施し、今後も効果的な情報提供に努める。

### 質問18 地域連携

生徒	保護者	教職員																																				
大内中の先生は、家人との連絡を大切にしている。	学校は、家庭・地域との連絡を大切にしている。	保護者や地域住民から寄せられた要望や意見に対して、適切に対応している。																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>53.4%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>29.1%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>17.5%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	53.4%	B	29.1%	C	0.0%	D	0.0%	E	17.5%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>38.8%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>49.5%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>10.7%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	38.8%	B	49.5%	C	1.0%	D	0.0%	E	10.7%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>30.8%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>69.2%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	30.8%	B	69.2%	C	0.0%	D	0.0%	E	0.0%
Category	Percentage																																					
A	53.4%																																					
B	29.1%																																					
C	0.0%																																					
D	0.0%																																					
E	17.5%																																					
Category	Percentage																																					
A	38.8%																																					
B	49.5%																																					
C	1.0%																																					
D	0.0%																																					
E	10.7%																																					
Category	Percentage																																					
A	30.8%																																					
B	69.2%																																					
C	0.0%																																					
D	0.0%																																					
E	0.0%																																					

A・B回答は、生徒が昨年度より4.7%増の82.5%、保護者が2.0%増の88.3%であった。一定の評価をいたしていると言えるが、E回答も1割強を占めている。一斉メールや電話連絡をより適切に行うよう改善を図り、今後も家庭・地域の要望や意見を取り入れ適切な対応に努める。

### 質問19 環境整備

生徒	保護者	教職員																																				
大内中の先生は、学校生活に必要な道具の準備や設備の整備をしている。	学校は、よりよい学校生活が送れるよう道具の準備や設備の整備をしている。	教材・教具・図書の整備を適切に行っている。																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>63.1%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>30.1%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>2.9%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	63.1%	B	30.1%	C	2.9%	D	1.0%	E	2.9%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>23.3%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>62.1%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>10.7%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	23.3%	B	62.1%	C	2.9%	D	1.0%	E	10.7%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>46.2%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>46.2%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>7.7%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	46.2%	B	46.2%	C	7.7%	D	0.0%	E	0.0%
Category	Percentage																																					
A	63.1%																																					
B	30.1%																																					
C	2.9%																																					
D	1.0%																																					
E	2.9%																																					
Category	Percentage																																					
A	23.3%																																					
B	62.1%																																					
C	2.9%																																					
D	1.0%																																					
E	10.7%																																					
Category	Percentage																																					
A	46.2%																																					
B	46.2%																																					
C	7.7%																																					
D	0.0%																																					
E	0.0%																																					

A・B回答は、生徒が昨年度より2.4%増の93.2%、保護者が6.7%増の85.1%であった。生徒・保護者の要望や社会の動きなどに着目しながら適切な教材・設備を整備できるよう教育委員会との連携を図る。

保護者の皆様からいただいた御意見等を御紹介するとともに、御質問にお答えします。複数の御意見や主なもののみを掲載しています。紙面の関係で一部表現を変更しているものがあります。個人が特定される恐れがあるものは一部表現を変更しております。また、似ている御意見は、まとめて表記・回答しましたので御容赦ください。

## 自由記述から

### 【教育課程】

- ・薬物依存の講演会で、場所が多目的室で体育座りだったかと思います。子供達のお尻が痛くなり、講演に集中できなかったようです。折角の貴重な講演会を、集中して聴ける環境でなかったことが少し残念に思えました。ご検討よろしくお願ひいたします。  
⇒当日の気温や感染症の流行度合いなども含め総合的に判断して参ります。
- ・部活動の荷物が多いので、部室に置けるといいです。盗まれたりとかあるからしないのだと思いますが、ちょっと重くて自転車の運転が心配です。  
⇒部活動ごとに御相談ください。
- ・今年は紺碧祭で作品の展示がなかったり、他校と比べてかなり簡略化されていたのが残念でした。  
⇒当日展示するか別の機会に展示するか、今後検討して参ります。
- ・運動会ですが、土曜日開催ではクラブ活動に支障をきたす生徒もいると思います。運動会は平日開催でも良いのではないかとも思います。（まだ賛否は別れると思いますが）  
⇒PTA役員の皆様と検討して参ります。
- ・初めての中学校ということで、入学当初は不安な事も多々ありましたが、担任の先生と級友にも恵まれ、充実した毎日を過ごせているようです。これも担任の先生をはじめ、先生方のご指導があつての事と感謝しております。
- ・部活動がこうした状況の今、特設陸上部、駅伝部、合唱部をさらに活発に行えないでしょうか？愛校心や団結力の向上につながると思うのですが。  
・人手不足は理解しますが、特設陸上や特設駅伝の指導時間の確保をお願いします。  
⇒職員数や勤務時間、昨今の指導状況の変化等から鑑みますと、少ない時間で効率良く活動したいと考えます。
- ・あるご家庭への偏った配慮により、生徒にしわ寄せがこないようご指導頂けると幸いです。  
⇒一人一人に寄り添った指導を心がけて参りますが、何かございましたら遠慮なく御相談ください。

### 【学習指導】

- ・授業は先生によって違うので、この質問による学校評価から改善を図れるのでしょうか。  
⇒学校評価や校内研修などを通して授業改善を図って参ります。
- ・社会の授業は分かりやすくて楽しいときいています。
- ・英検や漢検について。学校内では受けられなくても、どうしたら受けられるか、ポスター等の周知だけではなく、皆に理解できるよう、平等に定期的に情報提供してほしい。真岡市が英検漢検の助成をしても、学校が勧めなければ、意味がありません。  
⇒これまで周知してまいりましたが、さらに工夫して周知して参ります。

### 【人権教育】

- ・時代の影響かもしれません、中学生とは思えない些細な理由での友人同士の揉める事が多いように感じます。学校だけでなく、家庭内での向き合い方も影響しているように感じるので、どんな事があったか保護者会などを通じて保護者にもフィードバックしてもらえると助かります。  
⇒個人が特定されてしまう可能性があるため難しい部分もありますが、情報共有ができるものは行って参ります。

### 【安全管理】

- ・☆近くの小学校方面の自転車で下校している生徒が、横並びになり歩道を塞ぐだけでなく、時には蛇行運転しながら車道の真ん中まで出ている時もあり非常に危険です。  
⇒このようなっことのないよう継続して指導して参ります。

### 【情報提供】

- ・ホームページの更新頻度が多くて学校の様子がわかり、安心します。
- ・月に配信される学校だよりが文章文字ばかりで読みづらい。配信するのであれば、読みやすい見やすい工夫をぜひお願いします。  
⇒学校としてお知らせしたい内容を今後とも工夫して発信して参ります。

### 【保護者・地域住民等との連携】

- ・地域等とありますが、具体的にどこをさしているのかが分かりませんでした。  
⇒大内中学区全体となります。

### 【環境整備】

- ・送迎の駐車場が狭いです。
- ・一斉のお迎えの時や雨の日の迎えの車の渋滞が道路までつながります。なので南門から入り校庭で引き渡しにした方が渋滞が回避でき交通の妨げにもならずいいのではないかと思いました。  
⇒御迷惑をおかけしております。駐車場につきましては御指摘のとおりです。今後も、雷雨等の緊急の送迎時は南門を開放して渋滞緩和に努めます。
- ・子供を通じて、今年始めて校舎に網戸がついたと聞き、今まで無かった事に少し驚きました。市内の中学校の体育館にもエアコン設備の導入が予定されているようですが、勉強や活動の環境が時代に合う環境へ改善される事を願います。  
⇒御指摘のとおりです。今後も最善の環境整備に努めて参ります。

たくさんの御意見をいただきありがとうございました。

今後も生徒たちのよりよい成長のため、家庭や地域と手を取り合い、協働して教育を進めてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

真岡市立大内中学校

